

目 次

日本海スルメイカ新規加入量調査 I —スルメイカの幼イカ期における分布環境— 木所英昭（資源管理部・資源管理グループ）	3
2010～2013年における東シナ海・黄海及び対馬海峡での 大型クラゲの出現状況 加藤 修（資源環境部） 井口直樹（資源環境部・生物生産グループ） 清水 学（中央水産研究所・海洋生態系研究センター）	7
イシガニによる人工ヒラメの捕食について 山田達哉・山本岳男・長副 聡 竹内宏行・高原英生（資源生産部 資源増殖グループ）	13

表紙の解説

とれたてのスルメイカ（写真撮影 宮津庁舎 高原英生）

スルメイカは北海道から九州まで広く分布する日本を代表するイカです。春以降、水温の上昇と共に北上し、日本海側では5月は石川県、6月は新潟県、7月は青森県付近に漁場が形成されます。スルメイカは主にいか釣り漁業で漁獲されますが、いか釣り漁業では夜間にたくさんの集魚灯を使用するため、多くの燃油を消費します。そのため、近年の燃油高騰の影響を受けやすく、漁業者の経営が圧迫される問題が生じています。